

京都デジタルソリューションチャレンジ よくあるご質問

(Q) 複数のアイデアプランの募集は可能ですか？

(A) 応募は可能です。エントリーシートはテーマごとに提出してください。アイデアに共通する部分がある場合については可能な限り、1つのアイデアにまとめた形式でご応募ください。

(Q) 他社主催のビジネスコンテストに参加している場合も応募可能ですか？

(A) 応募可能です。既にご参加されているコンテストにおいて問題がないかをご確認の上、ご応募ください。

(Q) 京都を拠点とする企業でなくても応募できますか？

(A) 企業・団体の拠点、居住地を問わず応募可能です。ただし、2次審査、最終審査会は京都市内（京都銀行本店）で開催しますので、そちらにご参加いただけることが前提です。

(Q) 学生や起業していない個人でも参加可能ですか？

(A) アイデアの事業化を前提とした検討を想定しておりますので、事業実態のある法人を参加対象としております。

(Q) コンテスト参加にあたり、費用は発生しますか？

(A) 応募及び各選考への参加は無料です。ただし、参加に関わる一切の費用（交通費・宿泊費・アプリケーション/モックアップ制作費等）は応募者自身の負担となります。

(Q) 既に製品化、サービス化したアイデアの募集は可能ですか？

(A) 応募可能ですが、審査の観点では新規性についても考慮させていただきますので、付加価値を加えたアイデアをご応募いただければと思います。

(Q) 発表されている2次審査、最終審査会への参加が難しいのですが、応募可能ですか？

(A) 2次審査・最終審査会に参加いただけることが応募要件となります。

- (Q) エントリーシート提出時に添付資料の作成は必要ですか？
- (A) 添付資料については提出必須ではございませんが、より具体的なご提案内容の把握のため、補足資料の提出をお薦めをしております。
- また、2次審査にお進み頂ける場合には、会社の履歴事項全部証明書（3か月以内に発行されたものの原本）および決算書3期分（税務申告を含む一式の写し、3期経過していない法人は経過分のみ）の提出をお願いします。
- (Q) 成果物の知的財産権等の取扱はどうなりますか？
- (A) 本コンテストにおいて参加者が作成した文章、スケッチ、図、3Dデータ、CGデータ、写真、音声、動画、ソフトウェア、プロトタイプ化したハードウェアその他一切の成果物に関する著作権（著作権法第27条および第28条の権利その他の権利を含む）、特許権、実用新案権、意匠権、商標等の知的財産権（それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利も含む。）その他一切の権利は、作成した参加者様に帰属します。
- (Q) ベンチャーファンドからの出資はいつごろ受けられるのですか？
- (A) 総合的に判断し、ファンド運用会社にて決定します（出資をお約束するものではありません）。
- (Q) 受賞者へのコンテスト終了後のサポート体制はどのようなものがありますか？
- (A) ミーティングの実施や、実証実験の実施、必要に応じて他社様とのマッチングなど優秀な事業アイデアについては様々な形で事業化の検討を行いたいと考えております。
- また、グループ会社が運営するベンチャーファンドにて投資検討も行いたいと考えております。
- (Q) 審査はどなたが行う予定ですか？
- (A) 1次審査、2次審査は、京都銀行が主体となり、審査通過先の選考を行います。最終審査会は、京都銀行に加え、外部識者数名をお招きしながら、審査を行う予定です。
- (Q) 開発環境や銀行業務 API などは無償提供されますか？
- (A) 今回のコンテストでは、開発環境や銀行業務 API を提供いたしません。具体的な開発や銀行業務 API の利用については、コンテスト終了後を予定しております。